

没後400年 シェイクスピア

日々新しい本が出版されている中で、長い年月が経っていても世界中の人々に親しまれている作品があります。「ロミオとジュリエット」や「リア王」などで知られるシェイクスピア作品もそのひとつです。イギリスを代表する劇作家ウィリアム・シェイクスピアは、今年没後400年を迎えます。

シェイクスピアが表舞台に登場したのは、俳優としてデビューした20代前半頃。その後、劇作家や詩人として数々の作品を生み出していますが、詳しいことは分っておらず、彼の生涯は謎に包まれたままです。しかし、彼が残した36もの戯曲は今も世界中で演じられています。舞台はもちろん、映像化やミュージカル化もされており、日本の伝統芸能である歌舞伎でもシェイクスピア作品の「十二夜」を楽しむことができます。彼の作品の中でも恋愛物語の金字塔とされる「ロミオとジュリエット」。その現代版として翻案された「ウエストサイド物語」は、誰もが一度は耳にしたことのあるタイトルではないでしょうか。

長崎市立図書館には、シェイクスピア作品はもちろん、彼に関する本や「ロミオとジュリエット」・「ハムレット」などDVDも多数所蔵しています。この400年という節目の年に、シェイクスピアの世界をのぞいてみませんか。



『シェイクスピアのたぐらみ』

喜志 哲雄/著
岩波書店
S932.5 シ

「ロミオとジュリエット」などの戯曲たちを、作劇手法に焦点を当てて読み解き、ロマン主義以来の見方を一変させる、新しい発見へ導く。

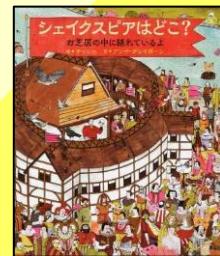


『こんなに面白かった「シェイクスピア」』

河合 祥一郎/監修
PHP 研究所
B932.5 シ

シェイクスピアの生涯・時代背景から、全作品のあらすじ、名台詞まで紹介する。

『シェイクスピアはどこ？ お芝居の中に隠れているよ』



アンナ・クレイボーン/作
ティリー/絵
井出 新/日本語版監修
川村 まゆみ/訳
東京美術
Y 絵本 テ

シェイクスピアの人気10作品をイラスト付きでダイジェストに紹介。それぞれのお芝居の登場人物やシェイクスピアを見つける絵さがしも楽しめる1冊。

<図書館カレンダー>

※毎週**火曜日**は休館日です。
※開館時間 10:00~20:00



2月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 28 | 29 | | | | | |

3月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | |

「遠藤周作・田代素魁『女の一生』さし絵版画展 in 長崎市立図書館」を開催しました！

昨年は宗教史上の奇跡とされる「信徒発見」から150年、戦後そして被爆70年を迎える年でした。その歴史を記念し、長崎市立図書館では遠藤周作文学館との共催で、12月19日から27日まで「遠藤周作・田代素魁『女の一生』さし絵版画展」を開催しました。

『女の一生』は、遠藤周作が信仰と戦争を背景に、2人の女性の恋愛を描いた物語です。この作品は昭和55年から朝日新聞で連載され、田代素魁画伯による情感豊かで生命力溢れるさし絵が物語を彩りました。遠藤は『女の一生』の他に、『沈黙』でも長崎を舞台にしており、長崎に縁深い作家として知られています。田代素魁は石川達三著『傷だらけの山河』や山崎豊子著『白い巨塔』などのさし絵を手掛けたことで知られる挿絵画家です。

このイベントでは田代素魁の作品の他にも、『女の一生』が掲載された当時の新聞や遠藤周作の草稿など、普段見ることのできない貴重な資料をご覧いただきました。また、遠藤周作本人が『沈黙』について語るドキュメンタリー映像「母なるもの 人間の同伴者」を上映した際には、遠藤が「長崎は心のふるさと」だと感じていたことに感激したという方もいらっしゃいました。期間中に実施した遠藤周作文学館学芸員による「『女の一生』について」のミニ文学講座では、遠藤周作の生涯や『女の一生』で描かれた長崎、田代素魁の作品が紹介されました。『女の一生』を執筆する際に使用した資料の中には、東京出身の遠藤にとって身近ではなかった長崎の方言について勉強した跡の残る本もあったといいます。遠藤の長崎に対する特別な思いをうかがい知ることができたのではないのでしょうか。また、田代素魁をご存知なかった方にも、作品や制作に対する姿勢、彼の人となりを知る機会となったようです。

今回のイベントを通して、長崎の歴史や文化、ひいては平和について考えるきっかけとなれば幸いです。



『女の一生 第一部
キクの場合』



『女の一生 第二部
サチ子の場合』

遠藤周作/著 新潮社 B913.6エン

田代素魁の素顔や仕事への
姿勢がうかがえる資料



連載当時の紙面・草稿



ブック・リレー

毎月2名の図書館員がおすすめの本を紹介します。

今月のテーマは

おいしいごはん



食べることは生きること

食べることは生きるうえで必要不可欠なことです、それが毎日の楽しみという人は多いのではないかと思います。

『雪と珊瑚と』は若いシングルマザーが、惣菜カフェを経営していく奮闘記。まだ幼い子どもを連れて途方に暮れていた主人公が、料理上手の女性に出会ったことをきっかけに、新しい道を歩み始めます。物語に登場する料理は素材を活かしたものばかりで、自分も食べてみたいとワクワクします。おいしい料理が人を元気づけ、人生を変えてしまうことがあっても不思議ではないのかな、と感じます。

さて、食物は現代文明の発展に大きな影響を及ぼしてきました。『図説世界史を変えた50の食物』では、食物が世界の中でどのように広がっていったのか、古代から現代まで幅広く紹介されています。この本を読むと、人と食物の相互作用の歴史が浮かび上がり、人と食物が密接に関わっていたことが窺えます。スーパーや食卓で少し立ち止まって、食物の由来や歴史に思いを馳せてみるのも興味深いかもかもしれませんね。

(司書 松野 都)



『雪と珊瑚と』

梨木 香歩/著

角川書店

F913.6 ナシ



『図説世界史を変えた50の食物』

ビル ブライス/著

井上 廣美/訳

原書房

2階一般 383.8 プ

ごはんを再現する

あの時食べたあの料理をもう一度食べたいな、と思ったことはありませんか？そんな記憶に残る料理を再現し、思いを叶えてくれる食堂を描いた『鴨川食堂』。「亡き妻が作っていた鍋焼きうどん」、「一発屋の歌手が若い頃にご褒美として食べさせてもらった天井」など、店主が依頼人の曖昧な記憶を頼りにどんなに難しい料理でも日本全国を駆け回り、捜して再現してくれます。依頼人たちのそれぞれの思い出が加味された料理は、さらにおいしく感じ、皆満足して帰っていきます。おいしそうな料理がたくさん出てくるので、読む側もお腹いっぱいになりそうです。

料理を再現してもらっても良いですが、自分で再現してみるのはいかがですか？『マンガ食堂』では、ドラえもん「大根シチュー」や、あさりちゃんの「おたまじゃくしの池」など、マンガに出てくる料理を再現しています。レシピも載っているので自分で作ってみることもできます。マンガの中では白黒だった料理が、彩り豊かでより一層おいしそうに見え、とてもワクワクさせてくれる1冊です。

おいしいごはんをたくさん食べて、この寒い冬を乗り切りましょう。

(司書 山中 みなみ)



『鴨川食堂』

柏井 壽/著

小学館

F913.6 カシ



『マンガ食堂』

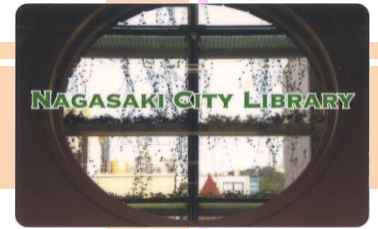
梅本 ゆうこ/著

リトルモア

Y596 ウ

来月のテーマは「騙」

長崎市(長与町・時津町)外へ 転出される方へのお願い



★図書貸出券が使えなくなりますので、市立図書館
もしくは最寄りの公民館図書室等へお返してください。

★借りている本は転出前(返却期限内)にご返却ください。

詳しくは
スタッフに
お尋ねください。

ご自宅に図書館の本はございませんか。

図書館テレビ

毎月1回月曜日、午後6時20分～午後7時
NHK総合「そこが気になる」のコーナーで放送中！



『江戸文様こよみ』 熊谷 博人/著
朝日新聞出版
H757 ク

江戸時代に庶民に親しまれた文様と、その元となった風習を
あわせて紹介。庶民が服装に、季節や文化をうまく取り入れ
て楽しむ様子がわかる本。

図書館ラジオ

毎月第2金曜日午後2時、
長崎シティFM (81.3MHz) 「ウィーパラライブラリー」で放送中！



『考えない台所』 高木 忍み/著
サンクチュアリ出版
K596 タ

予約の取れない料理教室の先生が教える台所段取り術。
憂うつな台所仕事が劇的に楽ちんに！



予約

ランキング

※予約が集中している本は数か月お待たせすることがあります。予めご了承ください。

| 順位 | タイトル | 著者名 | 出版社 | 予約数 |
|----|-----------------------|------------------|----------|-----|
| 1 | 火花 | 又吉 直樹 | 文藝春秋 | 633 |
| 2 | 人魚の眠る家 | 東野 圭吾 | 幻冬舎 | 376 |
| 3 | ラプラスの魔女 | 東野 圭吾 | KADOKAWA | 333 |
| 4 | フランス人は10着しか 服を持たない | ジェニファー ・リスコット | 大和書房 | 255 |
| 5 | サラバ! (上) | 西 加奈子 | 小学館 | 232 |

| 順位 | タイトル | 著者名 | 出版社 | 予約数 |
|----|-------------|--------|----------|-----|
| 6 | 流 | 東山 彰良 | 講談社 | 198 |
| 7 | 鹿の王 (上) | 上橋 菜穂子 | KADOKAWA | 175 |
| 8 | あの家に暮らす四人の女 | 三浦 しをん | 中央公論新社 | 167 |
| 9 | 家族という病 | 下重 暁子 | 幻冬舎 | 158 |
| 10 | 下町ロケット 2 | 池井戸 潤 | 小学館 | 155 |

(2016年1月16日現在)